



日本酒身近に アイデア競う

大学生ら 最優秀に崇城大チーム

大学生が日本酒の販促アイデアを発表するコンテストが3日、熊本市西区のビジネス支援施設クロスポイントであり、最優秀賞に崇城大芸術学部デザイン学科のチームが選ばれた。

若者に日本酒の魅力を知ってもらおうと熊本酒造組合が昨年に続き開催。今回は熊本県内の5大学から15チーム、約80人が参加。組合関係者らが発想やマーケティング、企画提案力などを審査した。

最優秀賞の崇城大芸術学部チームは、日本酒未経験者をターゲットにした屋台「いちげんさん」を提案。常連客がお薦めの日本酒を用紙に書いて専用の箱に入れ、その紙を手にした日本酒未経験の「いちげんさん」の客に酒をおごる斬新なアイデアが評価された。

同チームの中田遥夏さん(21)は「実際に屋台を作ってみたので、大学で実践してみたい」と話した。

酒造組合の吉村謙太郎事業開発委員長(瑞鷹副社長)は「前回に比べ、学生らに日本酒が身近になっているように感じた」と講評した。